

## 市長に議会案を提出

### 平泉寺荘の存続に 関する議会方針案の 提出

勝山市議会では、6月定例会において、平泉寺町区長会長他から提出された、「平泉寺荘の存続に関する請願書」並びに市高齢者連合会長他から提出された「平泉寺荘の存続に関する陳情書」を採択しました。

これらの議決に基づき、市議会では全員協議会・総務文教厚生委員会において、関係諸団体から意見を聴取するなど慎重に議論を重ねてきました。

その結果として、平泉寺荘の存続に関する議会方針案を作成し8月29日に市長へ提出しました。



## ～常任委員会の審議より～

### 予算委員会

**今定例会の審議結果**  
今定例会では補正予算1件について市側より詳細な説明と意見を求め慎重に審査しました。

#### 不在家屋の取り壊しについて

9月補正予算で計上した不在家屋の取り壊しについて、3軒長屋の2軒が不在家屋で倒壊の恐れがあり、放置すると隣接する住民の財産と生命に重大な危険が及ぶ恐れがあるため、市が災害対策基本法に基づき取り壊しを行うことにしたとの説明がありました。このうち1軒については、所有者が一人世帯で年金生活者のため、取り壊し費用を一度に支払うことができないことから、市が代執行で取り壊しを行い、費用は所有者から分割で市へ納入してもらおうことにしたとのことでした。

議会では、条例が制定されていない中で、取り壊し及び代執行、費用負担等の基準について議論をいたしました。取り壊しの基準として、市では放置すると倒壊の恐れがあり、隣接する住民や通行人への重大な危険や支障が及ぶ恐れがある場合として、空き家周辺の影響度

を調査しており、危険度の高いものがあれば対処していくとのことでした。

#### 観光PRと誘客推進事業について

今回の補正予算には、観光関係の予算がいくつか計上されました。一つ目は、左義長まつりの絵行燈の川柳を全国公募するための予算です。左義長の期間では、みんなを楽しませている絵行燈ですが、いよいよ全国公募です。

どのようなものが出てくるか大変楽しみです。二つ目は、映画「恐竜を掘ろう」に関する予算です。来年新春に封切り予定の映画ですが、今後は上映に向け、様々な形でのプロモーションが行われます。今年5月には恐竜博物館や、中部中学校、本町通り等で撮影が行われたことは、市民の皆様もご存じかと思えます。

この映画のトップ及びエンジニアリングには、撮影協力勝山市の名前が出ます。このような状況から、映画のヒットが、勝山市のPRにつながるかと考えられ、今回プロモーション費用の一部として補助金を出すことになりました。

2月には県内で先行上映され、3月には全国上映となる予定です。

委員会では、補助金額や、PR効果、今後も同様のケースが出てくることが予想されるため、対応について議論が交わされました。最後に、「恐竜によるまちなか誘客推進事業」です。

この事業は県が50%補助しています。内容は、全国の芸術系大で学ぶ学生約50人を対象に、勝山市を実際に見てもらい、土産物等に使用できるイラストなどを公募するものです。

目的は、勝山市内の土産物が少ないといわれるため、思い出に残る土産物の提供を目指すものです。今回委員会では、募集対象を学生に限定していることや、宿泊等を伴うとして、募集中の費用対効果に対して、限定的な意見が多く出されました。

また、選定されるイラストの使用手法や、デザイン性についても詳細な議論を交わしました。そのほか、勝山橋東詰に設置予定の恐竜モニューメントについても改めて様々な角度から意見を出し検討を重ねました。